鴨川市地域公共交通会議平成２４年度第１回会議　会議録

日時：平成24年10月19日（金）
午後１時30分～３時40分
場所：市役所７階会議室

［出席者］

摘　要	所属　・　職	氏　名
会長	鴨川市 副市長	石田　日出夫
１号委員	社団法人千葉県バス協会 専務理事	花﨑　幸一
	鴨川日東バス株式会社 常務取締役	鈴木　孝男
	小湊鐵道株式会社 常務取締役	久我　義範
２号委員	鴨川日東バス株式会社互助会	西川　裕治
３号委員	国土交通省関東運輸局　千葉運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送監査）	池田　和弘
４号委員	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所長	西川　正治
	千葉県鴨川警察署 交通課長	藤代　宣明
５号委員	利用者代表（公募委員）	小髙　好宏
	利用者代表	手塚　治代
	利用者代表	里見　桂子
	鴨川市心身障害者福祉作業所 所長	渡辺　栄一

［欠席者］

摘　要	所属・職	氏　名
１号委員	有限会社鴨川タクシー 専務取締役	本多　信介
５号委員	鴨川市校長会 校長	滝口　弘

〔オブザーバー〕

所属・職	氏　名
千葉県総合企画部交通計画課　企画調整班　副主幹	轟　洋子

〔事務局〕

所属・職	氏　名
鴨川市企画政策課 課長	杉田 至
鴨川市企画政策課 課長補佐	大久保 孝雄
鴨川市企画政策課 政策推進係 係長	藤代 公貴
鴨川市企画政策課 政策推進係 主任主事	町田 啓

［資料］

・次第
・席次表
・出席者名簿
・資料11　平成23年度鴨川市コミュニティバス運行結果
・資料12　先進地事例調査－公共交通の運行の態様について－
・資料13　平成24年度における運行見直しの対象路線と見直しの方向性について
・鴨川市地域公共交通会議　平成23年度第３回会議　会議録

１　開会（午後１時30分）　司会　杉田企画政策課長

配布資料の確認。

２　会長あいさつ

（要旨）

皆様ご多忙の折にも関わらずご出席いただきありがとうございます。

昨年度の本会議においては、コミュニティバスの南ルートのダイヤと運行経路等の変更について協議を行っていただき、これを去る７月１日から実施に移した。現在までのところ、お蔭様でほぼ順調に推移している。誠にありがとうございました。

本年度においては、また別のルートについて、これからの運行計画の在り方をご協議いただければ大変ありがたい。

近隣の君津市においてコミュニティバスから乗り合いタクシーに切り替えて実証運行をはじめており、また、熊本県の菊池市というところでも乗り合いタクシーを実施し好評を博しているとも聞いている。この方法についても検討していかなければならないと思料しており、乗り合いタクシー等も踏まえながら、本市における公共交通のあり方について、皆様のお知恵を拝借し総合的に検討を進めていければありがたい。

（司会により次の事項についてそれぞれ確認・紹介・報告）

・配布資料の確認

・出席者名簿に基づき、人事異動等により変更があった委員及びオブザーバーを紹介

４号委員　　千葉県安房土木事務所　鴨川出張所長　河又 惠一 氏　→　西川 正治 氏

千葉県鴨川警察署　交通課長　渋谷 圭 氏　→　藤代 宣明 氏）

５号委員　　鴨川市校長会　会長　川名 稔 氏　→　滝口 弘 氏

オブザーバー　千葉県総合企画部交通計画課　副主幹　伊藤 正文 氏　→　轟 洋子 氏

・欠席委員の報告

３　議事　　議長　石田会長

鴨川市地域公共交通会議設置要綱第５条第１項の規定により会長を議長として進行。

議事録署名人として、小髙委員を指名。

議事１　平成23年度における鴨川市コミュニティバスの運行結果について

事務局から、資料11に即して説明。資料のとおり確認された。

委員からの質疑、意見なし。

議事２　先進地事例調査の結果について

事務局から、資料12に即して説明。資料のとおり確認された。

委員からの発言等については、次のとおり

（鈴木委員）

今、デマンド交通の先進事例について説明していただいたが、当社では、本年９月から君津市がコミュニティバスに変えて運行しているデマンドタクシーを受託している。

運行する区域は、久留里、小櫃、松岡、亀山の４地区であり、13人乗り２台・10人乗り１台・予備車１台の４車両体制で、拠点は松岡駅近くに設け、予約受付と車両管理には、東京大学が開発したＩＴシステムを活用している。

運行開始後１か月であり十分なデータは揃っていないが、概要を報告すると、利用者としては概ね70歳以上のお年寄りの女性が多くを占め、利用目的としては病院、買い物、金融機関が多い。観光客の利用については稀である。なお、現在は実証運行であり期間は来年３月までとなっている。

ドアツードアという点ではコミュニティバスより便利になっている。ネックとしては、車両に登載したシステムとの通信にドコモの回線を使用しているが、黄和田や香木原等の山間部の一部では電波が届かず車両に指示できない場合があるため、その分車両の走行距離も増えてしまう。現在、通信事業者への要望を行うように市にお願いしている。

（石田会長）

君津市の例では、これまでコミュニティバスが運行していた全域を乗り合いタクシーに切り替えたという理解でよいか。

（鈴木委員）
乗り合いタクシーを運行している４地区のうち、コミュニティバスが運行していたのは亀山のみである。
乗り合いタクシーの導入以後、１台当たりで１日約200kmを運行し、20人前後を運送している。運行できるのは４地区内のみであり、この範囲であれば料金は均一。65歳以上の高齢者は300円、65歳未満は400円である。

（石田会長）
運行時間帯はどのようになっているか。

（鈴木委員）
朝８時から夕方６時であり、運行する30分前までに予約する必要がある。
欠点としては、予約された時間に迎えに行っても本人が忘れてしまったりしていない場合がある。そうすると、車両はそこで待っていなければならないため、次に迎えに行く予定の利用者が、ずっと待たなければいけないということになる。

（石田会長）
民間バス路線等との重複状況については、どのようになっているか。

（鈴木委員）
路線バスについては一切走っておらず、重複はない。なお、急行バスは走っているが、乗車できない区間に当たるため、競合はない。

（石田会長）
乗り合いタクシーの導入に伴う事前準備としては、どのようなことが挙げられるか。

（西川(裕)委員）
地域住民をメインターゲットとした公共交通であるため、予約システムへの住民の登録と、これに伴う地元説明会の開催が必要となる。なお、観光客については、主に観光協会名義での乗車としている。

（石田会長）
熊本県の菊池市の相乗りタクシーはタクシー車両であり、観光客も利用できると聞いている。

（鈴木委員）

登録していないと利用はできない。観光客は、観光協会又は旅館等の団体・法人の名義で乗車することとなる。

（石田会長）
運行に当たって警察関係の許可は必要か。

（藤代委員）
特にない。

（石田会長）
関東運輸局千葉運輸支局の池田委員は、このスタイルの運行についてどのように認識しているか。

（池田委員）
様々な地域で導入され始めているが、君津市の例のように、既存の公共交通が全くない地域では有効な手段であると考えている。
一方で、既存のタクシー会社との折り合いのつけ方が難しい。君津市については、久留里線沿線に既存のタクシー会社はほとんどなかったと記憶しているので、その点では問題はないのではないかと思う。
鴨川市では、既存の交通体系がある程度出来上がっているところでもあるので、共存は難しいのではないかと思っている。
県内でも、共存を図る方向で乗り合いタクシーの運行を始めてはみたものの、国県補助を受けて運行を維持しているバス路線が大きな影響を受け、その路線は、結果として来年３月には運行をとりやめることが見込まれている。このような状況にもなりかねないため、鴨川市での導入については、慎重を期す必要がある。

（久我委員）
先ほどお話があったコンピュータシステムは会社側で用意したのか。

（鈴木委員）
東京大学が開発したシステムを君津市が調達し、当社に貸与する方法をとっている。
当社では、システムのオペレーターを配置している。

（久我委員）
バスは駅中心に運行するが、デマンドタクシーの導入により、地域に別の核が生まれつつあるというようなことはあるか。

（鈴木委員）

病院への利用が半分くらいを占め、もっとも多い。

（石田会長）
利用者の立場としては、乗り合いタクシーはどう思うか。

（小髙委員）
バスでも初乗りは140円と安いので、金額的に不満はない。

（石田会長）
手塚委員はどうか。

（手塚委員）
例えば病院に行くとき、行きに予約するとして、帰りもまた予約が必要になるのか。

（鈴木委員）
電話一本ではあるが、予約は必要。

（里見委員）
乗り合いタクシーでは、病院の予約時間に間に合うように確実に到着できるか不安がある。

（鈴木委員）
時間帯によっては、乗車も降車も期待通りにいかないことは多々ある。

（手塚委員）
その点では、路線バスであれば、バスの運行時刻に併せて病院の予約をとれば問題がない。

（小髙委員）
亀田病院前は路線バスが20分間隔で走っていた記憶がある。あれは非常にありがたかった。

（手塚委員）
昔は、特に年寄りの女性は自分で運転しなかったが、今は異なる。バスの利用者も少なくなったため、今は運行間隔も違うのではないか。20分間隔であれば、本当に便利ではある。

（休憩　５分）

議事３　平成24年度における運行見直しの対象路線と見直しの方向性について

事務局から、資料13に即して説明。資料のとおり決定された。
委員からの発言等については、次のとおり

（久我委員）
運行実績について、総便数には土日に運行した便も含まれているか。

（事務局 町田）
含んでいる。

（久我委員）
バスの運行実態は、平日と土日で異なる場合が多いため、分けて分析することが必要だと思う。

（事務局 杉田）
土日については児童・生徒の通学利用がないため、清澄ルートでも土日の利用が平日に比べて少ないことは十分に考えられる。

（久我委員）
例えば、分析結果に基づいて土日を運休とすることが可能であれば、総体の利用者数は少なくなるが、運行実績の数値が上がることも考えられる。

（事務局 杉田）
土日の運行の見直しについても、是非今後検討して行きたい。

（小髙委員）
起終点の奥清澄付近には旅館が立地しているが、観光客の利用は考えられないか。

（西川(裕)委員）
バスを利用して行く方は、年間を通して10名いるかどうか。自家用車を利用される方が多いと感じている。

（事務局 町田）
資料13の４ページに平成23年度の実績として停留所別の利用人員を掲載している。奥清澄停留所の利用実績としては、年間で、下り便が乗車０人・降車53人、上り便が乗車81人・降車０人というものである。

（手塚委員）
清澄寺に行く観光客を考えると、一部ハイキング客がいるものの、基本的には車でなければいけない場所にあるので、自家用車、バス、タクシーのいずれかを利用しており、特にバスについてはある程度団体客に限定されるのではないか。
また、人口の減少が著しいと感じているが、これに併せてバスを利用する人も少なくなってい

ると想定でき、このことについても考えなければならないのではないか。

（石田会長）
　人口が少なくなったからバスを廃止してもよいかというと、住民福祉の観点からそれは難しい。
　また、バスがなくなると、ますます住みにくくなって人口減少が加速するということも考えられる。
　本市の人口は、合併前後で約３万７千人、現在では約３万５千人と減少している。しかし、本市は亀田病院の職員や患者さん、お見舞い客などを中心に、昼間の人口が多いという特徴も併せ持つ。

（手塚委員）
　昼間の人口については地域が集中しており、周辺部ではやはり減少していると感じる。

（小髙委員）
　亀田病院に勤務していた際に東京の銀行に事業資金の融資について相談に行ったが、市の人口が少ないことを理由として当初は断られた。しかし、頼み込んで病院まで足を運んでもらったら、安房郡中から患者が集まっている状況を目の当たりにし、融資を行ってくれたことがあった。昼間の人口については確かに多い。

（手塚委員）
　東京の人に鴨川から来たというと、すごい病院があっていいなという話しになる。若い人はシーワールドの印象が強いようだが、私達の世代では亀田病院の認知度が非常に高い。

（石田会長）
　コミュニティバスは、利用状況に応じてダイヤの見直しをしなければならず、本年７月１日から南ルートも新たな運行に移行した。
　清澄ルートについては、先ほど話があったとおり、奥清澄の利用者数が年間で下り53人・上り81人、比較的利用者が多いとされる向下にあっても下り426人・上り623人と１日当たり３名弱の利用となっている。
　一方、清澄寺では下り1,257人・上り1,458人であることから、ここを一つの境として考えることができるのではないかと思っている。

（手塚委員）
　鏡忍寺の750年祭が来年であるため、その前後を含めた今後３年間は、清澄寺への参拝者もある程度見込むことができると思われる。
　なお、先日清澄寺で薪能が行われた際に、自分で車を運転していくには道が狭いのでバスを利用したが、200円で上がれるのはやはりありがたく、バスがあってよかったと感じた。

（石田会長）
本日の議論を踏まえて、次回会議では、運行の見直し案として、検討のたたき台を提示させていただきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

（事務局 杉田）
今回会議では、見直しの方向性についてご提示させていただいた。
現在の清澄ルートでは全運行便の約半数が未利用であることから、運行するときに例えば電話で予約をしてもらうという選択肢も検討したいと考えている。
皆様におかれても、本日の会議の内容を踏まえて、次回会議までに清澄ルートにおける最適な運行方策についてご検討いただき、次回会議で本会議としての結論を得ることができればと考えている。
開催予定としては、年内に今一度のご参集をお願いしたいと考えている。
許認可等が必要となることも想定されるが、できるだけ早い時期に効率的な運行となるよう努めて参りたく、可能であれば、年度始めでもある来年４月１日から新たな運行に移行できればと考えている。是非その点もお含みおきいただきながら、次回会議で結論を得られればと考えているので、ご協力をお願いしたい。

（石田会長）
全体を見渡して池田委員から何かございますか。

（池田委員）
手続きについては標準処理期間というものがあるが、12月中に結論がでてこの会議の中での協議が整えば、４月１日からの運行開始には十分間に合うのではないかと考えている。

議事４　　その他
（特になし）

６　閉会（午後３時40分）

以上

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第７条第３項の規定により会議録の内容について確認します。

平成24年11月27日

小髙　好宏